

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【下落合小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和5年度さいたま市学習状況調査の「知識・技能」を、令和4年度の自校の結果より、全教科2pt向上させる。	⇒ ・基礎・基本や算数の習得すべき知識内容の問題を反復・習熟できるよう、計画的に取り組ませる。 ・学習計画や達成度が分かるものを用意し、積み重ねて自己のふりかえりをさせる。
思考・判断・表現	令和5年度さいたま市学習状況調査の「思考・判断・表現」を、令和4年度の自校の結果より、全教科2pt向上させる。	⇒ ・一つ一つの事象に対し自分の考えを持たせる発問の工夫と、考えをオクリンクやムーブノートを使ってクラウド上に載せ、それを互いにシェア出来る学習時間を設け、自分の思考をさらに広く、深くできるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査の「学びに向かう力等」における各教科への「好きか」という質問項目で、肯定的な回答を全学年2pt向上させる。	⇒ ・児童の探求心や知識欲を高める発問や問題提示、また自らの取組(達成度)が分かる記録媒体を用意し、次への意欲や自信につなげさせる。 ・本時のねらいに対するまとめと振り返りをさせる。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	国語と算数ともに、県や全国の数値を上回っている。算数で正三角形の意味や性質について理解しているか見る問題で解答累計を見ると、基礎的基本的な知識は定着しているが、文章の意味を捉えイメージするような応用問題に課題が見られる。
思考・判断・表現	国語と算数ともに、県や全国の数値を上回っている。国語では自分の考えが伝わるよう工夫する問題で、解答類型より資料から読み取り考察することに課題が見られる。算数では図形の面積の大小を判断する問題で、合同となる条件についてとらえきれていないことに課題が見られる。
主体的に学習に取り組む態度	児童の91.3%が、土日・平日1日平均30分以上家庭学習し、学習習慣が身についている。国語・算数において「好きか」という質問への肯定的回答が県や全国を上回る値となっている。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし